



▲インタビュー「働く人」淵脇さん（24ページ）

かごしま

あいら

市議会だより

No.24

6月定例会

平成28年8月31日発行

第7回議会と語る会

20

追跡

いけん
なつた

産後ケア

17

報告

委員会レポート

5

補正

5億3516万円

急ぐ災害復旧

2

急ぐ災害復旧

5億3516万円

予算総額 296億1716万円



▲音楽でふるさとを元気に!!

第2回定例会（6月議会）は、6月15日から7月7日までの23日間の会期で開かれました。

平成28年度一般会計補正予算、条例の一部改正、陳情などを審査しました。

その結果、議案4件を原案可決し、陳情1件を継続審査、請願1件を委員会付託としました。

補正予算

5億3516万円の追加補正です。

補正後の歳入歳出予算総額は296億1716万円です。

この財源は、国庫支出金、県支出金、繰越金、市債などです。

【主な事業】

- ・公共交通対策事業
- ・空き家対策事業
- ・コミュニティ助成事業
- ・地域介護基盤整備事業
- ・子ども医療費助成事業
- ・災害復旧費事業

条例の一部改正

始良市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正するものです。

対象を中学3年生まで拡充し、本年11月1日以後の診療分から適用します。（詳細は4ページ）

第7回議会と語る会開催

第7回議会と語る会

（始良市議会報告会）を、東自治公民館、西浦地区いきいき交流センター、加治木校区公民館で開催しました。

（詳細は20～21ページ）



▲日頃からの備えが大切です



県内一暮らしやすいまち
「始良市」をめざして
身近な事業を
ピックアップしました。

自主防災会へ補助 170万円

豎野自治会自主防災会への補助金です。

歳入は、一般財団法人自治総合センターの平成28年度コミュニティ助成事業助成金（宝くじ助成）です。

質疑 申請が複数あった場合は、市で優先順位をつけるのか。

答弁 多数の団体から申請を受けた場合は優先順位をつけ、全て県を経由して自治総合センターへ申請します。



▲福祉施設の充実が安心をもたらします

老人ホーム整備へ補助 2億8367万円

地域密着型特別養護老人ホームの整備に補助を行う地域介護基盤整備事業補助金です。

2施設を始良中央圏及びその周辺に整備します。

質疑 行政の関わりは。

答弁 市の所轄になるので、指導と監査をする。

質疑 2事業所に決まった経緯と結果を示せ。

答弁 4つの社会福祉法

人から応募があり、15名の委員による審査をしました。

委員は民生委員、老人クラブ、介護事業所関係の方などで構成されています。

12の審査項目で評価を行い評価点の高かった建昌福祉会・太陽の風の2社会福祉法人に決定しました。

（関連6ページ）



▲早急な対応を求めています

豪雨災害早期復旧へ 1億6163万円

6月19日から22日まで及び28日から30日までの梅雨前線の影響による大雨で、被災した市道等の復旧に必要な経費です。

特に、28日の午後から30日午前までにについては、市制施行後、経験したことのない局地的かつ集中的な豪雨であったことから、災害が多く発生しました。

1日も早く復旧するための補正予算の計上です。

【主な内容】

- ・耕地災害53件
- ・復旧費3773万円
- ・林道災害31件
- ・復旧費2650万円
- ・土木災害128件
- ・復旧費9740万円

これら災害復旧費補正は災害復旧工事委託料及び災害復旧に係る委託料としての計上です。財源は前年度繰越金です。

条例

子ども医療費助成 一部負担を中学生までに 11月1日から実施

始良市は、子育て家庭の経済支援等を目的に、0才～小学生の医療費を全額助成しています。今回の改正で、本年11月1日以降、中学生も対象に含まれます。しかし、中学生には課税世帯であ

る場合、20000円の自己負担がかかります。

子ども人口の増加や医療費の伸び率など検討し、他の財源の確保も必要であることから、市民税課税世帯・非課税世帯に区分されました。

質疑 子どもの貧困問題もあるが、どのように考えているか。

答弁 貧困の現状把握は難しく、生活保護、非課税世帯、児童扶養手当の支給状況を参考にしています。

質疑 一律無料にした場合との年間の差額はいくらか。

答弁 1300万円です。この1300万円あれば他の子どもの施策や生活困窮対策ができると思います。



▲中学生も対象に

質疑 参考にした自治体はどこか。
答弁 始良市に転入転出の多い鹿児島市や霧島市を参考にし、20000円控除をしている事例を参考にしました。

可決
賛成19名
反対4名

反対討論

小山田邦弘

①中学生の医療の実態を確認もしていない。

②人口増を前提にしているが、都市部の人口増で中山間の人口減を補完している課題は検討もしていない。

③一度も市民の声を直接聞いていない。
以上の論点で議論不足である。

賛成討論

森 弘道

今回の改正で中学生まで拡大したことを評価する。現在格差社会が広がる中において、市町村民の課税世帯の区分を設定したことは、税負担の応能、応益に沿った医療費負担の在り方で、自主財源に乏しい本市の健全な財政運営につながる。

賛成討論

田口 幸一

次代を担う子ども達の育成を社会全体で支えることが重要である。子育て家庭の経済的支援の充実を図るため、中学3年生まで拡充されることを評価する。

財源問題もあるが、近い将来、高校生まで適用されることを期待する。

賛成討論

堀 広子

子ども医療費助成が中学生まで拡充されることは評価できる。一方課税世帯への自己負担は、全国で無料化が進む中、始良市においても子育て支援・少子化対策、また貧困対策として自己負担の解消（無料化）と現物給付の実現を求める。

賛成討論

新福 愛子

全額助成が理想であるが、課税世帯への控除で生じる差額分が他の子どもも施策や貧困対策に向けられる可能性を理解した。端境で苦しい家庭もあることも危惧する。早期の完全無料化と現物給付の実現を強く要請する。

委員会レポート

総務常任委員会

今回の主な事業は、公共交通対策事業、空き家対策事業、電子計算システム管理事業、観光地等維持管理事業及び消防自動車等整備事業などです。補正予算の審査に当たり、協議を行い次のような4つの論点を抽出しました。

①地域コミュニティの
係

②地域防災の人材育成の
関係

③消防自動車購入の関係
④システム改修委託料の
関係

その後、関係職員の出席を求め、現地調査（重富海岸・保安林解除申請業務委託料）も含め延4日間、詳細に審査しました。審査終了後、論点を整理した結果、③の消防自動車購入の関係は、予算

金額は大きいものの、整備スケジュールに基づきしっかりと計画であること、また④のシステム改修委託料の関係は、日本年金機構の整備を受けて今回の改修になったものであり、いずれも論点

にしないことになりました。残りの2点については、自治会合併に伴う補助金やコミュニティ助成事業で、一つの括りとして、自治会の未加入問題やコミュニティのあり方等について活発な議論が展開されました。

5月から新しい構成となった各常任委員会ごとの活動をご報告いたします。

展開された 主な議論

○地域コミュニティ・自治会の活動を活性化させるために、自主防災組織で防災アドバイザーの育成をすることによって加入者も増えるのではないかと、さまざまな助成事業は、一部の関係者だけでなく、全員に広報すべきである。

○魅力あるコミュニティ組織にして、加入者に声掛けが必要である。

○自治会加入は強制はできないが、行政も条例等でしっかりと方向性を示すべきである。

さまざまな意見が出され議員間討議をしましたが、自治会の加入については今後の課題として注視しながら、さらに議論していく必要があるとの見解で合意形成に至りました。



▲なぎさミュージアムから駐車場への連絡通路を造るため保安林を一部解除（松の伐採はしない）

災害対応特殊水槽付消防ポンプ 自動車の購入

5400万円



▲CAFS搭載消防自動車

圧縮空気泡消火装置
CAFS

水と圧縮された空気・薬液を混ぜて泡を出し効果よく消火する装置。購入される同型の消防自動車は、始良分遣所へ配備予定。



総務常任委員会

（◎委員長 ○副委員長）

鈴木 俊二 田口 幸一
犬伏 浩幸 ○法元 隆男
萩原 哲郎 ◎和田 里志
渡邊 理慧 湯川 逸郎

文教厚生常任委員会

第2回定例会（6月議会）においては、2つの大きな議案が付託されました。

条例

「子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の件」

次代を担う子どもたちの育成を社会全体で支える観点から、さらなる子育て家庭の経済的支援の充実を図るため、その対象を中学3年生まで拡充し、本年11月1日より実施。

ただし、中学生への助成は市町村民税課税世帯にあつては、1か月の一部負担金の合計額から2000円を控除した額を助成するものとしたことから、委員間で議論が大きく分かれました。要旨、次のような討議がありました。

①課税・非課税の区分の有無により生じる差額

は、1300万円程度である。

②子育て支援を市の旗頭にすするなら、一律無料にするべきである。

③一律無料にしても、財政上、大きなダメージはないのでは。

④経済的に困っていない人まで一律無料にするのは、いかがなものか。

⑤課税・非課税の狭間の世帯を加味して、段階的に世の中の実情に合うように変えていくべきでは。



以上のような活発な議論が展開されましたが、結論として医療費助成対象を中学生まで拡充したことを評価し、賛成多数でこの条例を認めました。ただし、以下の附帯決議を全会一致で決めました。

附帯決議

子育て支援施策で医療分野は、極めて重要であり医療費の負担を所得で制限をかけることは、公平性に欠ける。今後、早い時期に完全無料化にするべきである。併せて、県に対して現物給付に向けて働きかけを強く要望する。

補正予算

地域密着型特別養護老人ホームの整備に補助を行う地域介護基盤整備事業補助金2億8367万8000円。

この事業は、1施設29床の2施設を、始良中央圏域およびその周辺に整備するものです。

事業費は、県の100%補助で、事業者は社会福祉法人建昌福祉会で、場所は船津地区と、社会福祉法人太陽の風で、場所は並木地区です。

開設時期は、平成29年4月からとなっています。現在の待機者は約180名ですので、待機の解消にはまだ時間がかかりそうです。

委員会質疑の中で以下①～④の答弁がありました。

① 今回の特別養護老人ホームは社会福祉法人経営でなければならぬ。

② 入所者は始良市民に限る。

③ 審査決定には、副市長

1名のほか民間事業者や学識者など15人の委員構成であった。

④ 4事業者が参加して、12項目の審査の着眼点を設け点数をつけて評価したあと、2事業所を決定。

以上のような審査の結果、待機解消に近づけるため、より一層の努力を要望し、全員の合意形成に至りました。



▲安心の老後施設に



文教厚生常任委員会

◎委員長 ○副委員長

上村 親 森 弘道

新福 愛子 ◎森川 和美

峯下 洋 ○吉村 賢一

神村 次郎 本村 良治

産業建設常任委員会

第2回定例会では、当委員会に付託された議案（補正予算）はなく、閉会中に実施した、商工会との意見交換会や請願の現地調査・審査などの主な活動を報告します。

意見交換会

始良市商工会の工業部会（岩下吉則部長）・建設業委員会（丸岡義郎委員長）の15名と、産業建設常任委員会7名が、初めての試みとして意見交換会を開催しました。

その中で、次のような質問がありました。

質問 始良市役所新庁舎建設計画の進捗状況と、新庁舎が完成した場合に蒲生支所や加治木支所はどうするのか。

回答 現在、職員による庁舎内検討委員会で協議中です。

新庁舎建設基本構想（素案）を策定した後、市民の方々や議員各位の



▲工業部会との活発な意見交換会

意見を聴きながら、新庁舎建設基本構想・基本計画が策定される予定です。

蒲生・加治木総合庁舎も新庁舎の建設と共に整備をする予定になっています。

うになっているか。

耐震補強をベースに考えているのか、建て替えが基本なのか知りたい。

回答 本市では、これらの新耐震基準を満たしていない市営住宅は、順次廃止されていく予定です。住宅政策は、合併による人口動態や現在入居中の高齢者の問題、小学校を中心とした定住促進や地域活性化など地域の現

状を踏まえた政策的な判断が行われます。

今回の意見交換会では多くの課題を残した会となりました。

今後継続的に会が実現出来るようにとの要望がありました。

請願

桃木野自治会（河野訓会長）から提出された、市道桃木野曲田線の整備改良等の請願書について現地を調査しました。

- 請願事項の内容は、
- ① 離合場所の設置
 - ② 側溝の未整備区間の整備と道路拡幅改良
 - ③ 道路法面部の崩壊防止の整備と雑木除去等
 - ④ 落石危険箇所の除去と防止対策

今後、委員会に執行部の出席を求め審査を重ねてまいります。



▲桃木野自治会は離合場所の設置を強く要望



産業建設常任委員会

◎委員長 ○副委員長

湯元 秀誠

堀 広子

竹下日出志

◎堂森 忠夫

谷口 義文

○小山田邦弘

東馬場 弘

避難場所

周知と見直し

市長／ハザードマップ等で公開



和田 里志

和田 災害ごとの避難場所の周知と見直しについて。

市長 平成25年の改正災害対策基本法では、指定避難所のほかに、災害種別ごとの「指定緊急避難場所」を指定することになった。

本市でも土砂災害・洪



▲耐震上避難所は保健センターのみ使用可

水・地震・津波・火山噴火の5つの災害種別ごとに指定緊急避難場所を指定し、5月に配布した土砂災害ハザードマップに明記し、市ホームページ等でも公開している。

自治会加入促進

市長／根気よく加入促進

和田 転入者へ校区コミュニティの案内や自治会加入促進に関するのほり旗等の提供を考えないか。市長 今後コミュニティのあり方について協議す

を問う

一般質問



湯川 逸郎

認可外保育

補助金等の対応

市長／施設の意向を支援

湯川 本市の認可外保育施設に対しては、運営補助金や施設整備補助金等の対応が全くない。

近隣市の鹿児島市・霧島市と比較し、補助金の交付要綱内容が非常に遅

れているが、市長の見解を問う。

市長 鹿児島市・霧島市においては、運営補助金や施設整備補助金、保護者への補助金が交付されていることは、承知している。

今後は、国が進める子ども・子育て支援新制度を踏まえ、より質の高い保育水準と経営安定を図るために、施設の意向を尊重しながら、国の財政支援を活用した事業等への移行を支援していく。

災害避難道路の整備

市長／年次的に計画

湯川 災害避難道路として、松原から高速道路の2連ボックスカルバートを活用して、蒲生方面に通ずる道路を早急に整備すべきと思うが、計画実施はいつか。
市長 現在、森山線・松原線の整備を実施しており、これらが終了した後、都市計画マスタープランの交通体系の整備の基本方針を基に年次的に計画していく。

その他の質問

- 始良公民館グラウンドの排水対策
- 宮田が丘布目瓦窯跡の公園化



▲仲良く遊ぼうね！

市道

消えた白線

市長／危険な所から優先



森 弘道

森 道路の白線が消えて
子どもの登下校に危険で
ある。道路のライン引き
は、どのようにするのか。

市長 白線等の要望につ
いては、スクールゾーン
対策委員会や地域住民か
ら要望があり、27年度は
17路線の約11キロメー
ルの区画線、中央線の補
修をした。

通行量、通学路等を考
慮し、危険なところを優
先的に早目に解消してい
きたい。



▲大雨で県道が冠水、低い住宅地へ流れ込む

市政

18人が

分水路の機能を果せ

市長／一定の効果あり

森 床上、床下など浸水
の恐れのある地域は何か
所で何戸数あるか。思川
土地改良区の分水路の補
修費用はいくらか、また
その効果があったか。

市長 本市の重要な水防
区域を定めており、20か
所で948戸が対象とな
っている。分水路は平
成25年度に取水口部分を
改修し、費用は20万円
である。以前よりも取水量
が増えており、一定の効
果があったと考える。

その他の質問

○庁舎建設

看取りケア

どのように考えるか

市長／心を込めたケア



田口 幸一

田口 本心に寄り添える
「看取り」をどのように
考えるか。

市長 誰もが避けられな
い死の瞬間を、可能な限
り穏やかに、そして自分
らしく迎えるために、終
末期医療としての看取り
ケアがある。

質の高い看取りケアを
実施するためには、終末
期にたどる経過、施設等
において看取りに際して
行い得る医療行為の選択
肢、医師や医療機関との
連携体制などについて、
家族などの理解が得られ
るよう継続的な説明に努
めることが重要である。
また、看取りを行う高



▲満足の人生

齢者等への接し方は、家
族や医療職をはじめ多職
種が連携して、その方の
これからの生き方に対す
る苦悩や迷いを受け止め
つつ、身体的、精神的苦
痛を和らげるケアを行う
ことであると認識してい
る。

その中で心を込めたケ
アをしていくことが、本
当に寄り添える看取りケ
アであると考えます。

その他の質問

○空き家対策

○市営住宅の実態

側溝整備

進捗状況は

市長／整備を計画



本村 良治

本村 重富中の弓道場横の側溝整備の進捗状況はどのようになっているか。

市長 市道永池公園大通り線から東側の市道重富中～原方線の区間で、延長137メートル、幅員5メートルの計画で道路の線形は交差点部が変則なために中心へ線形を向け、見通しの確保を図り、さらに弓道場横の排水構造物の整備も行う計画である。

新総合事業

市長／パンフレットで周知

本村 来年4月から開始される新総合事業について具体的に説明せよ。

市長 全国一律だった予防給付の一部を、新しい介護予防・日常生活支援



▲整備の必要な弓道場横の側溝

総合事業として、市町村で平成29年4月までに取り組むことになった。訪問介護・通所介護は新事業へ移行する本年10月以降に新総合事業に関するパンフレットを作成し市民への周知を図る。

その他の質問

○特別支援教育

地域おこし協力隊

市長／地域と協働して検討

活躍の場



吉村 賢一

吉村 地域おこし協力隊という国庫補助事業がある。

やる気ある若者を対象に地方に活躍の場を準備し、定住化を目的とする。高齢化が進み地域おこしの中心になる若者の少ない中山間地域での活躍が期待されるが、どのよ



▲用水路の氾濫

平野部の浸水対策

市長／土砂浚渫の要望を考える

うな地域が想定されるか。市長 地域力の強化を図る必要がある、地域社会の新たな担い手として隊員を求めている。

受け入れの理解と協力が得られる地域に情報提供すると共に、地域と協働して検討していきたい。

吉村 加音ホール北側の用水路は常に越水するが、どのような対策を考えているか。

市長 西側スライドゲートは、老朽化のため、新規スライドゲートへ改修検討中。

下流の潮遊池の貯水能力向上のため、環境保護団体と調査し、県に土砂浚渫の要望をする。

庁舎建設

早期実現を図れ

市長／検討を加速する



堂森 忠夫

堂森 庁舎が地震災害で閉鎖中の市もあるが、本庁舎は古く危険性が高い。庁舎建設の早期実現を図れないか。
庁舎建設発注は、市独自のランクを点数化し、技術や管理の向上を図れ。
市長 新庁舎建設基本構想（素案）策定後、市民



▲建て替え急ぎたい加治木総合支所

や議会の意見を聴き、計画策定等の検討を加速する。

合併特例債を考慮すると、平成36年度までには完成させる。

電気設備も管工事と同様に、A級B級のランク付けができるように準備をしている。

校区コミ協の活性化へ

市長／校区振興計画の取組に期待

堂森 地区民には地域での不安や不満が多々あるが、早急な解消と校区コミ協の活性化のために各

団体のレクレーション等

を図れないか。

市長 地域の声を反映させた「まちづくりプラン 校区振興計画」への取組みをお願いし期待している。

今年度から市内17の校区が一堂に会する「始良市校区対抗スポーツ大会」を11月20日に実施する。

その他の質問

○国際交流

★用語の説明
「校区コミ協」とは、校区コミュニティ協議会の略語です。

施設整備

小山田保育所の建て替え

市長／全保育所等のあり方を検討



神村 次郎

神村 小山田保育所は築51年経過し老朽化が進んでいる。

子どもの安全快適な園生活のために建て替えを検討できないか。

市長 全保育所等の今後のあり方を検討するため「市立保育所等あり方検討委員会」を設置し保育所等の現状分析と課題を調査しているところだ。

神社前歩道

教育長／寄付申請手続き中

神村 護国神社前の北側歩道は石積みが歩道にせり出している。

柁城小学校の児童は、南側歩道へ迂回して通学している。早急な復旧を求める。



▲浸水被害もある小山田保育所

教育長 この場所は学校に隣接したスクールゾーンであり、児童生徒に対して危険性もあることや、「加治木島津屋形の跡」という市指定文化財でもあることから、神社側と協議の結果、不安定な部分の土地を神社から市に寄付していただき、工事を行うこととしている。現在、寄付申請を待っている状況である。

その他の質問

○災害

○始良市中央弓道場の整備

防災教育

ハンドブックを活用

教育長／啓発活動を行う



竹下 日出志

竹下 防災に対する教育や啓発活動を充実するため、手軽に持ち歩ける防災ハンドブックを作成・活用する考えはないか。
教育長 日常的に、防災に対する意識を持つよう注意喚起を促すことは大切なことである。
各幼稚園・小中学校の



▲手軽に持ち歩ける防災ハンドブック

児童生徒の生命を守るため「危機管理対応必携」を作成し、配布している。今後、防災に対する啓発活動を行う。

若者の政治への関心向上 市長／調査・研究する

竹下 若者の政治への関心を高める動きに注目が集まっている。

愛知県新城市では、若者議会条例に基づき、新城市若者議会を開催し、若者の政治参画を推進している。

本市でも若者議会を実施できないか。

市長 各自治体で、10代、20代の若者の声を聴いて、政策に反映する若者議会の取組みが広がっている。今後、若者の声を政治に反映させる仕組みづくりに調査・研究する。

その他の質問 ○食品ロスの削減に向けての取組み

対策として「適応指導教室」を、加治木、始良の2か所に設置しており、平成27年度の実績は、小学生2人、中学生35人の延べ37人の児童生徒が通っている。
また長期に不登校状態

不登校生

今後の対策

教育長／スクールソーシャルワーカー派遣



峯下 洋

峯下 現在の不登校生徒児童の現状とその対処・指導方法と長期不登校児童生徒の今後の対策について問う。

にある児童生徒に対しては、スクールソーシャルワーカーを派遣しながら、総合的な解決に向け、関係機関と連携していく。



▲側溝整備

下水・排水整備

市長／地方改善施設事業の活用

峯下 高齢化が進み、下水掃除が困難になっている。行政の対応策を問う。
市長 側溝清掃の業務委託や排水勾配の改善等を地方改善施設整備事業を活用し排水施設の改修を実施していく。

その他の質問 ○松原なぎさ小学校通学路の整備 ○始良市独自の特別区導入

ごみ減量

使用済み紙おむつの資源化

市長／調査研究する



新福 愛子

新福 本格始動した日置市の生ごみ回収や、鳥取県伯耆町の使用済み紙お

むつの資源化などの先進地の取組みを研究し、ごみの減量の検討をする考えはないか。
市長 生ごみは収集や処理に係る経費のほか課題もあると聞く。
また、使用済み紙おむつの燃料化には分別に対する市民の理解や専門の

機械の購入等の課題もある。

これらの課題や費用対効果を含め、調査研究していく。

子育て環境整備を

市長／今後、協議を行っていき

新福 市内で開催されるイベント会場にオムツの交換台や授乳用いす等を備えた「移动式赤ちゃんの駅」の貸出しをし、安全安心の子育て環境の整備を進める考えはないか。
市長 多くのイベントは公共施設の多目的トイレの使用で対応可能であるが一部対応できない施設もある。今後、関係機関等と運営を含めた協議を行っていく。

その他の質問

○ピロリ菌検査やリスク検診で胃がん撲滅



森川 和美

北山診療所

医師確保は

市長／確保は極めて困難

森川 過去に、後任医師については、今後とも継続して適任者を探すと答弁している。医師確保等はどのような状況か。
市長 常勤医師の退職後は、2医療機関との業務委託による医師の派遣により診療を行っている。常勤医師確保について



▲常勤医師を待つ北山診療所

は、継続して適任者を探しているが、現在の深刻な医師不足の影響により、確保は極めて困難な状況である。

当面は、現在の業務委託方式での診療維持が図れるよう努力する。

未婚・晩婚対策は

市長／調査・研究する

森川 未婚や晩婚対策はどのように考えているのか。

市長 本市の27年度アンケート調査では、結婚する際の障害として一位が「経済的余裕がない」、次いで「希望の相手にめぐり会えない」ことや、

職業や仕事上の問題等となっている。

また、結婚のために求める支援策では、一位が「結婚後の育児や介護への支援」二位が「新婚夫婦対象の住宅提供補助金支給」等である。

これらの状況を踏まえながら、民間事業の活用も視野に入れて、定住促進にも繋がるよう調査、研究していく。

その他の質問

○イオンタウン開業
○消費税再延期



▲墓地の水道料金の統一を

墓地の水道料金

3地区の統一化

市長／減額等検討する



上村 親

上村 過去の答弁で3地区のルール統一化について協議することになったが、加治木地区、蒲生地区の組合設立に向けての協議はされたのか。ルール統一化ができて

るまで公益上公正を期するため、減額・免除が必要と思うが考えを示せ。
市長 統一化に向け昨年社会福祉協議会と協議したが、加治木地区は、管理組合の設置がなく、水道料金を含め管理費等の徹底を会員に求めるための組織を確立させることは困難である。
蒲生地区は、水道メーターが設置されておらず、水道料金は免除されている。

始良地区は、平成17年度から、それぞれの墓地管理組合で支払っているが、解決には相当な時間を要する。

墓地水道の利用契約が各地域で異なると公平感が欠けていることは認識している。

墓地管理や水道の契約者の統一が図られるまでの間、暫定的になるが、簡易水道・上水道を含めて減額等も検討する。

空き家管理サービス

市長／調査・研究する

ふるさと納税



渡邊 理慧

渡邊 始良市のふるさと納税制度は平成27年10月にリニューアルされている。内容とその後の影響はどうか。

市長 昨年10月の見直しにより、市内16事業者から71品目の提供があり、肉類の食料品や陶芸品など様々で、寄附者が選択



▲ふるさとに貢献

できるようになった。これにより、約2か月半の間に前年度の約10倍の寄附をいただいた。
渡邊 市内の住宅が空き家になっている寄附者への特典として、空き家管理サービスを検討できないか。

市長 今後、調査・研究していく。
障害者支援法改正
市長／準備を進める

市長／準備を進める

渡邊 障がいのある人への生活支援などを盛り込

○小・中学校のクーラー設置

設置

就学援助の入学準備費

教育長／研究していく

貧困対策



堀 広子

堀 ①就学援助の入学準備金は、現在7月支給である。入学の準備ができるよう3月支給にできないか。

②就学援助費の給食費は、現在（実費8割）の支給である、憲法26条（義務教育は無償とする）に基づき無償にできないか。



▲入学式が待ち遠しいな！

ないか。

教育長 ①前年度課税状況を精査し決定している。3月に支給できないかについて研究していく。

②近隣と協議を重ねながら進めていきたい。

堀 子どもの貧困率が全国で第三位と高い、貧困対策として計画を策定すべきではないか。

市長 関係機関と協議し検討していく。

熊本地震の課題

市長／関係機関と協議

堀 熊本地震の課題（周知と福祉避難所を組み入れた訓練）等を活かすため関係機関との検討協議が必要ではないか。

市長 課題協議をし、全市的によいような体制をとるか民間福祉協議会との協議をしていく。

その他の質問

○市営住宅の駐車場使用料

暮らしやすいまち

防犯灯の全額補助

市長／新設・修繕は一部補助



湯元 秀誠

湯元 市内の防犯灯の設置状況は十分であるか。

また、防犯灯の設置制度の見直しを進め電気料金の全額補助で自治会の負担軽減は図れないか。

市長 今後も自治会の要望に基づき設置していく。始良市防犯・暴力追放協議会で補助事業を実施している。

今後の新設はLEDを設置することで電気料金の負担軽減に寄与できる。

物産館建設計画を示せ

市長／建設計画を延伸

湯元 始良地区に建設予定の物産館の用地は決定している。

他施設との生産、出荷競争の回避対策や農業者の生産力の向上、6次産業化の推進など建設計画と平行し取り組むべき。



▲売上2億円を目指す「くすくす館」

今後の計画を示せ。
市長 用地を西之妻地区に決定し、今年度から基本計画・設計を行う予定だったが、平成30年度までの第6次実施計画で建設計画を延伸した。

その理由として、火葬場や新庁舎建設など緊急性を要した事業を優先的に実施し、イオンタウン2期工事や予定周辺地の大きな環境の変化を見極める必要がある。

自治基本条例

自治

市長／今は成熟度不足



小山田 邦弘

小山田 校区コミュニティについて「どこまでがコミュニティで、どこからが行政のすべきことがわからない」という声がある。

自治基本条例のようにルールを規定する必要もあるのではないか。



▲これは自治会、校区、行政どこが解決する課題？

市長 必要だと思うが、今かという疑問もある。合併7年目で市としての成熟度が不足している。

自治のルールも市民の中から熟議されて出てくるのが理想だと考えている。

小山田 逗子市は2年間かけて市民参加のワークショップを開催し、専門家の検討会も実施して自治基本条例案をまとめ、平成30年度の制定を目指す。

この市長は選挙でマニフェストに示し、まず

みんなで自治や条例を考える機会をつくっているが研究対象にはならないか。

市長 このような大きな課題は時期を待つばかりでは進まないこともある。マニフェストで市民に

訴え、数年後に実現を目指すのは非常によい考えで参考にしていきたい。

始良橋

老朽化対策急げ

市長／維持管理に努めていく



谷口 義文

谷口 この橋は、車・自転車・歩行者も利用している利便性の高い橋である。歩道もなく老朽化しており、通行する度に危険を感じている。

大型車輛の規制、歩道の設置等、大改修も含めて安心安全に通行できる橋を望むが、対策をどう考えるか。

市長 始良橋は、昭和7年に旧建設省において、国道10号線に架設され、現在まで約84年が経過しており、老朽化が進んでいる。

国における橋梁長寿命化計画の方針に基づき、平成23年度に修繕計画を

策定し、修繕費用は約7億4千万円と推定している。橋梁の架け替えには、膨大な事業費が必要である。周辺地区の交通形態や費用対効果などの調査、研究が必要と考える。今後の対策としては、

大型車輛等の規制、拡幅も含めての検討を行い、適正な維持管理に努めていく。

その他の質問

- 水害
- 物産館



▲老朽化している始良橋

追跡

あん質問な いけんなった

一般質問で取り上げられた課題が実現しました。

産後ケア利用料の助成

平成28年4月からスタートしました。

産後の母体管理や授乳・沐浴などの指導が受けられる
「産後ケア」への助成を検討できないか。(平成27年6月議会)

答弁 産後ケア事業も含む総合的な母子保健事業の
展開を検討している。



▲やさしくやさしく

母親の産後の体調管理
開始しました。
産後ケア利用料に助成を
赤ちゃんに対し、宿泊型
産後ケア利用料に助成を
開始しました。
産後ケア利用料に助成を
開始しました。

「産後ケア」
ってなに？
出産を終えた母親の体
や心はとても不安定です。
本来なら約一か月は
ゆっくりと体を回復させ
るべきですが、核家族化
が進む現代は、周囲の支
援を受けられない家庭も
多く家事や育児に追われ
て無理をしがちです。
そのことが産後うつや
腰痛、ホルモンのバラン
スの乱れを引き起こす要
因になることもあること
から「産後ケア」への
ニーズが高まっています。
始良市では今年度4月
から、退院直後からおお
むね4か月までの母親と
赤ちゃんに対し、宿泊型
産後ケア利用料に助成を
開始しました。



基本利用料金 19,440円	一般世帯	非課税世帯 生活保護受給世帯
乳児1人	基本料金の5割 9,720円/日	基本利用料の2割 3,880円/日
2人以上	上記の自己負担額+2人目以降2,160円/日	

母親の食事代は含まれるが、おむつ代の追加料金あり

利用料金は？

とケア、赤ちゃんのお世
話の仕方や様子の見かた、
授乳や沐浴の仕方など、
心身のケアや育児のサ
ポートを行う産後ケアの
支援体制が整いました。

利用できる 施設は？

- 鹿兒島市内の3施設が対
象です。
- 鹿兒島中央助産院
- ふるた助産院サクララン
- マミイ助産院

問い合わせは？

健康増進課 母子保健係
☎ 0995-6613111
(内) 142
○ 母子手帳交付時の案内
○ ホームページや「子育て
て便利帳」にも掲載さ
れています。

「子育てなら あいら」

産後ケア事業が、母
親の心身にわたる健康
支援と切れ目のない子
育て支援に繋がり、若
い世代が安心して妊
娠・出産・子育ての希
望を実現できる
「子育てなら
あいら」
のまちづくりが進むこ
とを期待します。

議会に行こう!



始良市立蒲生中学校 家庭教育学級のみなさん

一般席

7月28日、蒲生中学校の家庭教育学級夏休み企画で生徒18人、保護者10人のみなさんが議場見学に来られました。

初めての議会

みなさん議場を訪問するのは初めてということ、まずは議長が議会の概要や仕組みを説明しました。

最初は難しそうでしたが、スライドを交えた議長の話に徐々に緊張もほぐれ、熱心に耳を傾けていました。

その後は、議員への質問タイム。当初、生徒のみなさんは遠慮がち。保護者のみなさんが大雨の災害でお年寄りの避難が難しいなど、最近の地域課題を問われ、議員が身近な地域での対応策を答えると、ピンとくるところがあつたのか徐々に質問が始めました。

最後は生徒から「土曜授業で遠足を実施して欲しい」と意見が出て、活発な意見交換もありました。また「24人の定数は



妥当なのか」という鋭い質問も飛び出しました。休憩をはさみ次は議場ツアー。傍聴席だけでなく、議長席、市長席にまで腰かけ議会の雰囲気を感じて頂きました。

また、議会中継などに使われるカメラのスイッチングを試したり、議席で「議長!」と挙手する自分の姿を議場モニターに映してみたりして、議場でしか体験できない経験をしてもらいました。

激論!! 親子議会

ハイライトは、最後の模擬議会「親子議会」。

これは保護者が執行部役で議案を提案し、これに議員役の生徒たちが質疑し、議論を交わし、最終的には電子投票で議決するというものでした。

議会事務局長の「ご起立ください。一同礼」に始まり、議長が議事運営する本番さながらの模擬議会が開会しました。

執行部の議案は「体育祭で親子競技を復活させたい」というものでした。

生徒議員からは「親子競技は楽しいのか」「どんな競技があるのか」が問われ、執行部からは「ムカデ競争はみんな力を合わせるので楽しい」などの答弁がありました。



途中、執行部から「他に競技はないか」と市議会では未だみられない「反問」があり、生徒議員からは「親子でポケモンGO」と時期を得た答弁も繰り出されていました。

保護者執行部、生徒議員の入り乱れた激しい議

論の末、採決に入り、「親子競技復活を学校側に要望する」ことを賛成多数で議決し、蒲生中親子議会は幕を閉じました。

後日、参加された生徒からは「議会便りやネット中継もみてみたい」「市議会は身近なことを話して、みんな決めていくことがわかった」などの感想がありました。

また、参加された保護者からは「初めて議会に触れた気がした。傍聴したいと思うようになった」「普段入れないところに行けて感動した。また実施して欲しい」などの声が届きました。



議会構成 決まる!!



▲全議員心も新たに

市議会議員の任期は4年ですが、半分の2年が経過し、常任委員会の構成替えと議長・副議長の選任を5月2日に臨時議会を開会して行いました。

議会を代表する立場の責任の重さをしっかりと自覚しながら市民の皆さまに分かりやすく、信頼される議会となるように、引き続き議会改革に取り組みで参ります。

早稲田大学マ



議長 湯之原 一郎

第4代議長に
湯之原 一郎
副議長に
田口 幸一
議会運営委員長に
森 弘道

ニフエスト研究所が毎年地方議会の議会改革度調査を実施しランキングを発表しています。始良市議会は、2014年は、全国1503議会で663位でした。そして、2015年は1460議会で402位と言う結果でした。情報公開・住民参加・機能強化の3カテゴリーで点数化して順位をつけています。始良市議会に何が足りないのか、一つの指標として大変役立つ調査であると考えています。弱点を少しでも克服し、良いところはさらに伸ばして、更にランキングが上位になっていくように、努力して参りたいと考えます。

市民の皆さまのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。



▲全国市議会議長会からの感謝状が贈呈されました



副議長 田口 幸一

この度、副議長の職を拝命しました。議長を支え、市民との架け橋になるように頑張ります。

議会改革、会派の結成、政務活動費等、取組む課題が山積しております。

議員皆さま方の考えをよく吟味し、風通しの良い始良市議会を目指し、努力してまいります。



議会運営委員長 森 弘道

議会改革が進み、本会議のインターネット中継をはじめ、わかりやすい説明のためにパネル等の使用など議会の中身も充実してきました。

当委員会は、議会の運営や活動のあり方について、問題点を出し合い、調査研究し、適正な議会運営を目的に副議長、各常任委員長等で構成しています。

今後も開かれた議会として、市民のために改革が必要なものと、議会発展のために委員会ですら調査研究しながら取り組んでまいります。



議会運営委員会

(◎)委員長	(○)副委員長		
和 田 里 志	森 川 和 美	堂 森 忠 夫	○小山田邦弘
和 田 里 志	◎森 弘 道	○小山田邦弘	○波邊 理 慧
森 川 和 美	田 口 幸 一	堂 森 忠 夫	
◎森 弘 道			
田 口 幸 一			

生活に身近な要望

横断歩道の設置を!



▲建昌校区東自治公民館（参加者28人）



▲交通事故多発現場診断が行われた交差点（桜通り）

始良市議会では、開かれた議会をめざして、市民の皆さまに議会の活動状況をお知らせし、皆さま方からのご意見を市政に反映させるため、「議会と語る会」を実施しています。

第7回目の「議会と語る会」は、5月21日（土）に建昌校区・東自治公民館、22日（日）に西浦校区・西浦地区いきいき交流センター、26日（木）加治木校区・加治木校区公民館で実施し、今回は70人（前回48人）の市民の皆さまの参加がありました。

各委員会で作成した資料について説明の後、市政全般にわたって意見交換がなされ、参加者から生活に身近な信号機や横断歩道の設置などご要望やご意見をいただきました。

主な質問・意見

質問 東自治会の中心を通る桜通りは車の往来が多く、信号機と横断歩道を設置できないか。

回答 市道鍋倉〜触田線と菅原〜東線の道路改良は、今年度補償調査、用地交渉を行い県公安委員会との交差点協議を実施。始良警察署による交通事故多発地点特別対策の合同現場診断が行われます。

信号機・横断歩道の設置は、鹿児島県警により設置されます。

質問 用水路について、今は田も無くなり水も流れていない。蓋の上を車が走り騒音がひどい。埋めることはできないか。

回答 委員会で現場を確認して対応していきます。

質問 鹿児島マラソンで全国各地から来られた方に対して歓迎が足りなかったのではないか。残念である。

回答 鹿児島マラソンは、議会もその通りの感覚を持っていきます。力を合わせてアピールしていきます。

質問 グラウンドゴルフ場などを増やしてほしい。

回答 これまでも場所等を要望しており、今後も要望を続けていきます。

質問 人口増のため、企業誘致はどう進めるのか。

回答 須崎地域の用地や平松物流用地などを進めています。

質問 熊本地震を受け、避難対策は。

回答 地震や津波対策、風水害については、配布されたハザードマップにより周知されています。自主防災組織の中でも確認していくことが必要です。

質問 くすの湯の湯量が足りない。トレーニングルームなども入れてほしい。

回答 まずは湯量の確保が最優先されており、今年度新たな工事に入ります。

質問 地域の集まりが学校でよくある。

敬老会など参加したいのに参加できない高齢者が多い。そのため、学校に車いすを置いてほしい。プルトップを集めて車いすをもらうことができると聞かれていますか。

回答 担当課へ申し入れます。

第7回 議会と語る会

桜通り 信号機と



▲加治木校区公民館（参加者17人）

質問 資源物収集の日に指導係の輪番制は、高齢化が進み限界にきている。自治会加入を促進できないか。

回答 高樋自治会では、会費半額の準会員制をとっており、加入促進にも努めています。

質問 防災無線の難聴地域は他にないか。放送が重なって聞きづらい。

回答 無線機から遠く聞きづらい地域は、個別受信機を設置している。全員に伝わるように防災ラジオを全戸配布するよう



▲西浦地区いきいき交流センター（参加者25人）

に要望していきます。

質問 加治木総合支所はとも古い建物だが、災害発生時に耐えることができるのか。

回答 3庁舎とも耐震面では問題があり、新庁舎建設委員会の立ち上げを検討しています。

アンケートから

○いろいろな意見が出、即回答があるのは「議会と語る会」ならではだと思います。プロジェクト

ターの使用は大変よかったですと思います。

○農業水路の使用されていないものを改善してほしい。

○西浦地区の現状を知っていたただけに、この会の意義があったことに感謝いたします。いろいろな要望もありましたが、少しずつ改善してもらいたい。

○今までこういう会合がなかったので無関心でしたが、今回初めて参加して、大変有意義な時間を過ごすことができました。今後も続けていただきたいと思います。

○市営住宅が見た目でも古く改善してほしい。

○住宅街の道路もだいぶ傷んできています。生活道路も定期的に補修を行ってください。

広報広聴特別委員会

(広聴班)

湯元 幸一	田口 俊二	鈴木 義文	谷口 弘道	森 幸一	田口 幸一	湯元 秀誠	湯元 親	上村 隆男	法元 良治	本村 賢一	吉村 哲郎	萩原 賢一	堀 広子
-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------

紙面に掲載した質問などは、一部を抜粋したものです。地域の課題を含め、多くのご意見をいただきました。

市政へのご意見は、執行部にしっかりとつなぎ、議会に対するご意見は、今後、議会の中で議論を深めていきます。

編集作業の流れ

役割分担

議案配布時に作成した台割表を議会開会中に確認。役割分担を行い、それぞれの担当を決めます。

一般質問原稿回収

一般質問の原稿は、質問者個人で作成します。記事に添える写真も、それぞれ撮影しています。

編集作業開始

閉会日翌日からレイアウトを決めて、記事を作成。一番時間が掛かる作業です。（1週間程度）

入稿

原稿が出来上がったら、印刷業者へ入稿します。

修正

1週間程度で戻ったゲラ刷り（試し印刷）を担当ごとに確認し、修正後、印刷業者へ入稿します。

原稿の読合せ

再び戻ってきたゲラ刷りを全員で読み合わせし、修正を行います。

最終確認

最終確認を行います。（最後の修正）

納品

完成!!



議会だよりの編集作業を紹介

議会だよりは、議会事務局の職員が力をいれている自治体もあります。始良市議会では掲載される写真をはじめ、ほとんどの作業を広報班の議員が行っています。

議会ならではの目線でお伝えできるように取り組んでまいります。みなさんのご意見もお寄せください。

今回は議会だよりができるまでを簡単にご紹介いたします。

班長
副班長
委員

(広報班)

広報広聴特別委員会

堂森 忠夫
小山田 邦弘
竹下 日出志
東馬場 弘
森川 和美
神村 次郎
新福 愛子
湯川 逸郎
和田 里志
犬伏 浩幸
渡邊 理慧
峯下 洋



第8回 クイズ



加治木地区で毎年8月16日に行われる薩摩兵と朝鮮兵の踊りです。

- ①吉東西踊り
- ②吉左右踊り
- ③吉前後踊り

正解は何番ですか？

クイズに答えて 図書カードを ゲット!!

正解者の中から、
5人の方に
図書カードを進呈

■応募方法

- 官製ハガキかメールにて、答え、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、議会事務局にお送りください。
「あいら市議会だより」へのご意見、ご要望も大歓迎。
- 締め切り／9月22日（当日消印有効）

■あて先

〒899-5492
始良市宮島町25番地 始良市議会事務局
メールアドレス gchosa@city.aira.lg.jp

※ご応募いただいた方の個人情報は、ご意見への回答、抽せん、図書カードの発送以外の目的には使用しません。

今回メンバーが替わり、広報班長として張り切っています。朝の連続ドラマで放映されている「とと姉ちゃん」では写真やイラストを使い、分かりやすい雑誌の編集を行っています。た。そのようなところに共通点を感じています。今後も新しい広報紙づくりにチャレンジしていきます。皆さまからのご意見やご感想をお待ちしています。

広報班長 峯下 洋

編集後記

傍聴席から

省エネもわかりますが、暑すぎではないでしょうか？庁舎建設の折にはご検討下さい。市民としましては、もし大地震が発生した後の事が非常に心配です。ニュースではいろんな取り組みをされている地域があります。始良市も人ごとではありません。いつ大地震がきても大丈夫なような体勢がとれます様お願いいたします。（50歳代 女性）

当局の回答に「検討します」が多いのにはがっかりします。市民は「検討した結果」を聴きにきているのです。事前に検討する時間はたっぷりであるはずです。（60歳代 女性）

- ・質問者は容易に回答者に妥協はしない。
- ・映像による質問は判り易い。
- ・外国人の労働者についてトラブルの発生のないよう容易に国際化に同調しないよう。
- ・行政の回答で検討中の場合は途中の進み具合も回答しては。（80歳代 男性）

質問に対して通り一遍の答弁でなく、どう考えるか、どうするか、具体的な答弁になるように再三質問して追及していた点、関心しました。尚、議会には市の活動を定める大事なこと。これを市民に知らせる手立てをやっているか。又、教育活動として、児童、生徒の傍聴は計画的になされているか、など感じました。（70歳代 男性）

傍聴席へどうぞ 車いす席もあります

第3回定例議会は、9月2日から10月7日まで開催予定

インタビュー 「働く人」



淵脇和代さん
(49歳)

施設での、具体的な仕事の内容は？

利用者様の食事の調理が主ですが、入浴介助や車いす介助、掃除や見守り等いろいろやっています。

勤務内容、日数や時間は、どのようになっていますか。

当初、自信が無かったので希望して、短い時間をお願いしました。

1日4時間、月に10日から13日くらい、交代制のパートになっており、早出があったり、出社時間も日によってバラバラですが、職員の方々と話し合いながら、シフトを組んでもらっています。

「なぎさの家」は、地域と介護をつなぎ、互いの入り口のような役割を持つ施設です。

認知症の方が一人の人間として敬われ、家庭的環境の中でゆったりと自分らしく暮らしていただけることを目指しています。

家族や地域の方々と自然に交流し、互いの役割と支え合う暮らしでまちづくりの一助になることを目的とされています。

地域に根ざして

「ありがとう」と笑顔が生きがい

この仕事を希望された理由をお聞かせください。

長い間働いておらず、そろそろ仕事を探そうとしていたところ、地域に介護施設ができるのとこのとで興味がありました。

地元の人を雇用したいとの施設側からの要望もあつたらしく、自治会長さんからも紹介がありました。

すでに他界した両親のかわりに、入所の方々のお世話ができ、少しでも楽しんで生活していただけのお手伝いが出ればと思

い、また地域の方のお役にもたてると思いい仕事を希望しました。

この仕事をされていて、嬉しいと感じられるのはどのような時ですか。

利用者様から「ありがとう」の言葉をいただいたり、特に笑顔が見られたりした時が、一番嬉しいです。

仕事をされていて苦労されるのはどんな時ですか。

介護の専門員ではありませんので、認知症の方に対する接し方、対応の仕方、特に言葉のかけ方等に苦労していますが、毎日勉強中です。

働き始めて3ヶ月、淵脇さんにとって働く目的、喜びなど感想をお聞かせください。

私はズバリ、自分の健康のためと思っています。この仕事をさせていだき、時に落ち込んでいた自分がいなくなりました。

職員の方々と利用者様とのコミュニケーションで、物事が前向きに考えられるようになったと感じています。



▲ありがとう笑顔



▲グループホームなぎさの家

スタッフみなとの協力により、自分の都合で働けるとともに、利用者様から、毎回いろいろなパワーをもらっています。

これからも地域に根ざした施設とともに、利用者様の「ありがとう」と笑顔を生きがいと頑張っていきたいと思っています。(聞き手 和田)

新しく進出する企業や施設が地域に根ざし、皆さまとともに発展されることを願っております。